



第1回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年4月)

現在の生活自由度、普段の暮らしを100点とすると54.3点 不安に感じることのトップは「経済の停滞」91.2%

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2020年4月、新型コロナウイルスの感染が拡大している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施いたしました(調査実施は4月2-6日※政府の緊急事態宣言前、対象は首都圏・名古屋・阪神圏の20~69歳の男女1,500名、一部調査項目については3月より実施 調査概要は5ページ参照)。

感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、現在の状況下における「生活自由度」が何点くらいかをきいたところ、54.3点となりました。また新型コロナウイルス感染拡大に伴う不安や、抑制している行動、変化している行動など30項目について尋ねたところ、「経済の停滞に不安を感じる」が91.2%と最も高くなりました。行動については「旅行・レジャーを控えている」88.7%、「交友・交際を控えている」85.1%など、さまざまな行動を抑制しているとの回答が高くなりました。一方で「外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている」は38.9%、「できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている」は23.5%(有職者ベース)と、比較的低い値に留まりました。

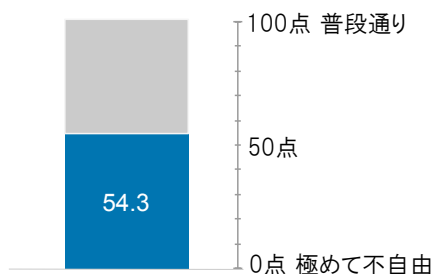
本調査は当面の期間実施し、毎月第3週頃に発表する予定です(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

【質問文】新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか？

普段通りの暮らしを100点とすると
現在の生活自由度は

54.3点



新型コロナウイルス影響下での意識・行動【一部抜粋】

【質問文】新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。(単一回答:あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

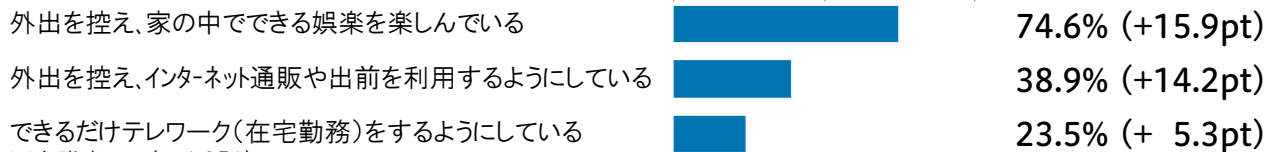
不安度



行動抑制度



行動変化度



補足資料① 新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

- 新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」について、感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、全体では54.3点でしたが、男女別では男性が55.3点、女性が53.2点と、男性の点数が若干上回りました。
- また年代別では60代が57.6点と最も高くなりました。背景には、仕事をすでにリタイアしていたり、普段からあまり遠出をしなかったりと、若年層に比べて生活上の影響を受けにくい人が多いのではないかと、などの要因が考えられます。
- 「生活自由度」の理由を自由回答で聴取したところ、比較的点数の高い人からは、「元々あまり歩かないので影響がない」旨の回答が多く見られた一方で、点数の低い人からは交遊や趣味の機会が制限されることや、外出できないことでのストレスを挙げる声が見られました。

■ 性別/年代別結果

※()内は調査人数

	全体 (1,500)	男性 (755)	女性 (745)	20代 (241)	30代 (286)	40代 (375)	50代 (319)	60代 (279)	
生活自由度	54.3	55.3	53.2	53.3	52.7	52.8	55.2	57.6	(点)

■ 生活自由度の高・中・低割合

		全体 (1,500)	男性 (755)	女性 (745)	20代 (241)	30代 (286)	40代 (375)	50代 (319)	60代 (279)	
生活自由度	高 (61点以上)	33.8	37.2	30.3	34.4	30.4	30.4	37.6	36.9	(縦%)
	中 (41~60点)	36.6	34.6	38.7	34.0	39.2	37.6	32.6	39.4	
	低 (40点以下)	29.6	28.2	31.0	31.5	30.4	32.0	29.8	23.7	

■ 生活自由度の回答理由(自由回答)

生活自由度	高 (61点以上)	1人で3LDKで生活して自分の好きな部屋を作る余裕ができて、シアタールームまでできたので部屋から出ることなく家で永久に遊んでいられるため。	100点	男性20歳・愛知県
		元々人込みには出ないし仕事はテレワークがそぐわない業種。通勤も元々マイカー通勤で基本的な生活は変わらない。長期化すれば例年秋から冬に行っている業務上の出張に影響が出るかもしれない。	95点	男性53歳・奈良県
		1~2か月に1度電車に乗って遊びに行く程度だったのがゼロになっただけなのでさほど不自由ではない。まだ自分のいる市内は東京ほど緊迫していないから、近所への買い物は普段とあまり変わらない。	80点	女性60歳・千葉県
		元々家において読書などをするのが好きなので、知人の誘いが減り、自宅での自分の時間が増えた。ただこれがいつまで続くのかが分からないので不安にも思う。	80点	男性27歳・大阪府
		育児休暇中でそもそもあまり外出することがないので、そこまで変化はないが、日用品などが買いたいときに買えない(売っていない)状況には不自由を感じている。	70点	女性31歳・大阪府
	中 (41~60点)	いろんな場所が閉められて行動が制限されている。テレビ番組がコロナのニュースばかりでいやになる。	60点	女性25歳・愛知県
		子供の幼稚園が休園になったり、休みの日に出かけられなかったり、友人と集まれなかったりするため、通常よりもかなり不自由を感じるが、基本的な生活と健康は保っているから。	60点	女性41歳・神奈川県
		外出も控え、在宅勤務で通勤もなく、週末のラグビートップリーグ、スーパーラグビーなど好きなスポーツ観戦も全てできなくなったから。	55点	男性61歳・千葉県
		ジムに行けなくなり体調がよくない。1人暮らしなので友達と会わないと直に会える人がいない。	50点	女性64歳・東京都
		友人との食事等が軒並みキャンセルとなり、仕事以外の自由がかなり制限されてきている。	50点	男性44歳・大阪府
	低 (40点以下)	休校の影響で子供たちが終日在宅しており、そのストレスからかケンカが増え、その仲裁のため自分も怒ることが増えた。先の見えない閉塞感や政府・自治体の対応も頼りなく感じられ、そのストレスを発散することができないから。	40点	女性45歳・神奈川県
		パートも思うように入らず収入が減り、たとえ安全であってもネットで買い物もできない。不要不急の外出もお金がないからそもそも出来ない。	35点	女性43歳・大阪府
		外出が常時できていない。仕事を新たに始める予定だったのにそれが出来ない。友人との交流や外食も出来ない。スポーツ観戦や映画館などの娯楽も奪われたので予定が大きく変わった。	30点	男性26歳・大阪府
		ずっと家にももっていて、体も動かせないので運動もできないし、好きなことの制限が著しいので、ストレスも溜まり始めている。	20点	男性37歳・神奈川県
		収入は減ってもたびたび満員電車に乗らなければならない、感染の不安に加えプライベートは我慢しなければいけないことがばかりで非常にストレスがたまり、生活のすべてに影響がある。	10点	男性35歳・東京都

補足資料② 新型コロナウイルス影響下での意識・行動

- 新型コロナウイルス影響下での意識や行動について、「不安度」の項目「経済の停滞に不安を感じる」が91.2%と、全30項目を通じて最も高い数値となりました。
- 性別/年代別にみると、「不安度」や「行動抑制制度」についての項目は、男性よりも女性が高く、若年層よりも高齢層で高くなるという傾向が見られました。一方で、「行動変化度」については「家にいる時間が増えたので、動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している」などオンライン/デジタルサービスの利用を中心に多くの項目で若年層の数値が高齢層を上回りました。
- 30項目中、3月時点にも聴取している15項目については、すべての項目で4月の数値が高くなる結果となりました。特に「行動抑制度」に関する項目で数値が大きく増加し、この1ヶ月で様々な行動を控える意識が高まっていることがうかがえます(次ページ参照)。

■ 性別/年代別結果

※「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
()内は調査人数

		全体 (1,500)	男性 (755)	女性 (745)	20代 (241)	30代 (286)	40代 (375)	50代 (319)	60代 (279)
不安度	経済の停滞に不安を感じる	91.2	89.1	93.3	82.2	88.8	93.6	94.4	94.6
	行政の対応に不安を感じる	86.9	81.9	92.1	80.9	85.7	88.5	89.0	88.9
	海外の情勢に不安を感じる	83.5	81.2	85.9	71.4	80.4	87.5	86.5	88.5
	情報の不足や不確かさに不安を感じる	82.3	78.0	86.6	77.2	81.8	86.9	79.9	83.5
	自分や家族の健康に不安を感じる	78.2	72.6	83.9	73.9	72.7	76.3	83.1	84.6
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	69.6	67.8	71.4	71.0	70.6	72.8	70.5	62.0
行動抑制制度	不要不急の外出を控えている	89.3	85.0	93.7	80.5	87.8	91.7	91.8	92.5
	旅行・レジャーを控えている	88.7	84.0	93.4	81.7	85.0	90.7	90.3	93.9
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控えている	86.7	81.9	91.7	82.2	84.6	87.5	88.4	90.0
	交友・交際を控えている	85.1	78.8	91.4	74.7	82.2	88.5	87.1	90.0
	不要不急の買い物を控えている	84.2	80.7	87.8	75.9	81.8	87.2	85.3	88.5
	外食を控えている	82.7	75.9	89.5	76.8	78.7	84.0	84.0	88.5
行動変化度	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている	90.8	85.6	96.1	83.4	86.7	95.2	90.6	95.7
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている	79.5	76.4	82.6	72.2	81.5	79.5	79.3	83.9
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	74.6	70.1	79.2	74.7	77.6	75.5	71.2	74.2
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている	60.5	54.8	66.2	56.4	59.4	62.7	57.7	65.2
	家にいる時間が増えたので、スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している	49.3	49.0	49.7	69.3	58.7	48.8	38.9	35.1
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている	46.9	42.0	51.8	46.9	49.3	47.5	42.0	49.1
	家にいる時間が増えたので、動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している	44.7	47.5	41.7	69.3	52.4	41.9	35.4	29.7
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	38.9	36.0	41.7	41.5	40.2	40.0	35.1	38.0
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる	38.2	36.3	40.1	39.8	43.0	38.1	29.5	41.9
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている	35.0	31.7	38.4	59.3	44.8	35.2	22.9	17.6
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている	34.4	36.2	32.6	36.9	36.4	34.4	34.5	30.1
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている [有職者ベース]n=1,051	23.5	27.4	17.5	26.6	21.3	23.3	24.4	22.2
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、家の中の環境を充実させている	21.6	25.3	17.9	33.2	25.5	24.5	14.4	11.8
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている	18.3	20.7	15.8	29.5	24.1	17.9	12.5	9.7
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている	17.6	19.6	15.6	27.8	19.6	18.4	14.4	9.3
家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている	16.3	24.8	7.7	22.0	20.6	16.5	11.0	12.5	
家にいる時間が増えたので、副業をしている	14.9	18.0	11.7	30.3	19.2	12.8	9.1	6.5	
家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている	14.3	17.9	10.7	25.7	17.8	13.6	10.3	6.5	

<下記基準で色付け>

(%)

■ : 全体より5pt以上高い

■ : 全体より5pt以上低い

補足資料③ 新型コロナウイルス影響下での意識・行動

※「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
()内は調査人数

■ 時系列推移(全体ベース・2020年3-4月)

		3月調査 (1,500)	4月調査 (1,500)	差分 (4月-3月)
不安度	経済の停滞に不安を感じる	83.2	91.2	+8.0
	行政の対応に不安を感じる	---	86.9	---
	海外の情勢に不安を感じる	---	83.5	---
	情報の不足や不確かさに不安を感じる	74.1	82.3	+8.2
	自分や家族の健康に不安を感じる	70.7	78.2	+7.5
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	58.1	69.6	+11.5
行動抑制度	不要不急の外出を控えている	72.5	89.3	+16.8
	旅行・レジャーを控えている	69.1	88.7	+19.6
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞などを控えている	---	86.7	---
	交友・交際を控えている	59.9	85.1	+25.2
	不要不急の買い物控えている	64.5	84.2	+19.7
	外食を控えている	61.1	82.7	+21.6
行動変化度	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている	84.1	90.8	+6.7
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている	---	79.5	---
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	58.7	74.6	+15.9
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている	50.7	60.5	+9.8
	家にいる時間が増えたので、スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している	---	49.3	---
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている	---	46.9	---
	家にいる時間が増えたので、動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している	---	44.7	---
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	24.7	38.9	+14.2
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる	---	38.2	---
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている	---	35.0	---
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている	25.5	34.4	+8.9
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている [有職者ベース]3月n=1,042/4月n=1,051	18.2	23.5	+5.3
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、家の中の環境を充実させている	---	21.6	---
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている	---	18.3	---
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている	---	17.6	---
	家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている	---	16.3	---
家にいる時間が増えたので、副業をしている	---	14.9	---	
家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている	---	14.3	---	

(%) (pt)

■ 質問項目(質問文)

[新型コロナウイルス影響下での生活自由度]

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか？
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[新型コロナウイルス影響下での意識・行動]

新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

調査時期 2020年3月5日(木)～9日(月)
2020年4月2日(木)～6日(月) ※政府の緊急事態宣言前

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

<3月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1500

<4月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1500

調査方法 インターネット調査

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

本調査は当面の期間実施し、毎月第3週頃に発表する予定です(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)。